



社会人院生による実践研究(その1) 研究と実践の《両立》と倫理的配慮

日時 2019年11月17日(日) 14:00~16:45

無料

会場 大阪府立大学 I-siteなんば (2階 S5教室)
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2階・3階
Tel 06-7656-0441(代表)

近年、施設や行政機関、社協などといった社会福祉の現場で働きながら、「ご自身の実践を研究という形でまとめたい」、「実践を通して直面した課題や疑問を解決したい」といった研究動機で大学院に入学する人が増えています。実践と研究を往還するプロセスで、特に留意すべき「倫理的配慮」や「客観性の担保」とは、具体的にどのようなことなのでしょうか。また、「果たして、自分の実践は研究対象になりえるのか?」という問いに直面された経験のある方もいらっしゃるのではないでしょうか。そこで今回は、働きながら大学院で学ぶ院生が直面する「実践者として自分の実践そのものや実践を通して直面した課題や疑問について研究することの困難や工夫」に焦点をあてて、ディスカッションする機会にしたいと思います。

話題提供

コーディネーター：伊藤 嘉余子 (大阪府立大学 教授)

コメンテーター：山中 京子 (大阪府立大学 名誉教授)



永井 義雄 大阪府立大学大学院博士前期課程 2016年3月修了 / 堺市 健康福祉局

小川 裕子 大阪府立大学大学院博士前期課程 2014年3月修了 / 元：生活保護施設相談員

増井 香名子 大阪府立大学大学院博士後期課程 2017年3月修了 / 元：大阪府社会福祉職
/ 現：新見公立大学 講師

終了後、懇親会も予定しています。会費4,000円(院生2,500円程度)

参加を希望される方は、懇親会の参加有無を含めて、下記までメールでお申し込みください。なお、メールには、①お名前、②ご所属、③懇親会へのご参加の有無、を必ずご記入ください。会場予約や資料作成等の準備の都合上、11月8日(金)までにご連絡頂けると幸いです。よろしくごお願い致します。

参加申込・お問い合わせ先：伊藤 嘉余子 e-mail: tki23040@osakafu-u.ac.jp

I-siteなんばまでのアクセス

南海電鉄「なんば駅(中央出口)」下車、南海線東側の道を南へ約800m、徒歩約12分

地下鉄御堂筋線「なんば駅(5号出口)」下車、南へ約1,000m、徒歩約15分

地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1番出口)」下車、東へ約450m、徒歩約7分

地下鉄堺筋線「恵美須町駅(1-B出口)」下車、西へ約450m、徒歩約7分

南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、北へ420m、徒歩約6分

